

令和 5 年度 第 2 回市川市スポーツ推進審議会

次 第

日 時：令和 6 年 3 月 26 日（火）

午後 1 時 15 分～午後 3 時 00 分

会 場 第 1 庁舎 5 階 第 1 委員会室

1. 議 案

議案第 1 号「第 2 期 市川市スポーツ推進計画 事業計画の進捗」について

2. 報 告

報告第 1 号「塩浜 2 丁目市有地活用事業」について

報告第 2 号「学校部活動地域移行の検討経緯」について

報告第 3 号「国府台公園野球場ネーミングライツ」について

【配付資料】

（資料 1）【議案第 1 号】第 2 期 市川市スポーツ推進計画 事業計画 実施事業一覧表

（資料 2）【報告第 1 号】塩浜 2 丁目市有地活用事業について

（資料 3）【報告第 1 号】塩浜 2 丁目市有地活用事業の民間活力導入に関するマーケット
サウンディング結果概要

（資料 4）【報告第 2 号】学校部活動地域移行の検討経緯について

（資料 5）【報告第 3 号】国府台公園野球場ネーミングライツについて

No	事業名	事業概要	所管部	所管課	令和5年 指標数値			令和6年 指標数値		基本施策											達成率		
					事業費	数値目標	事業費 見込み 数値目標 見込み	事業費	数値目標	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	2-1	2-2	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	R5	
										親しむきっかけの創出	スポーツの推進	目的に応じたスポーツ活動	子どもへの育成と体力向上の推進	競技力の強化	普及の推進	地域活性化によるスポーツの推進	観戦の推進	指導者の確保と育成	拠点の拡充	団体の拡充	情報の収集	情報の発信	達成率（概算）
重点事業（推進計画にて重点、先導的に取り組むべき施策）										★					★		★	★			★		
1	スポーツ推進事業	各種イベント及びスポーツ教室を公益団体と共催し開催	スポーツ部	スポーツ推進課	11,258,000円	イベント等の実施事業数 45事業	未確定 46事業	11,258,000円	イベント等の実施事業数 46事業	◎	○	○			○								100.0%
2	スポーツ協会補助金交付事業	県民体育大会、市民体育大会などを通じて、競技力の向上や市民のスポーツ振興	スポーツ部	スポーツ推進課	10,080,000円	5事業の実施	未確定 6事業の実施	10,080,000円	6事業の実施	◎			○										100.0%
3	スポーツ推進委員活動事業	市主催事業開催に協力し、スポーツ推進のためのコーディネーター及び推進役として活動	スポーツ部	スポーツ推進課	4,149,000円	市主催事業への推進員参加延べ人数 1,700人	未確定 1,634人	4,314,000円	市主催事業への推進員参加延べ人数 1,800人	◎	○			○	○				○				96.1%
4	市民スポーツ振興事業	市民が各種スポーツを通じて、健康保持、増進意欲及び活動意識の高揚を図ることで、スポーツ実施率の向上	スポーツ部	スポーツ推進課	2,260,000円	実施事業数 6事業	未確定 6事業	1,840,000円	実施事業数 6事業	◎	○			○	○								100.0%
5	健康スポーツ教室事業	市民の健康づくりやスポーツに親しむ機会を低虚数のため各種健康スポーツ教室の実施	スポーツ部	スポーツ施設課	672,000円	健康スポーツ教室の開催 108回	672,000円 112回	1,128,000円	健康スポーツ教室の開催 188回	◎													100.0%
6	こども館運営事業	子どもの心身の成長のため、小学生以上を対象に、身近で卓球などの軽スポーツを楽しめる場を提供	こども部	こども家庭支援課	76,000円	軽スポーツ参加人数 33,900人	44,975円 31,412人 (1月末時点)	67,000円	軽スポーツ参加人数 33,900人	◎		○											92.6%
7	地域介護予防活動支援事業	住民団体が身近な場所で主体的に行う「市川みんなで体操」の新規立ち上げや活動の継続を支援するもの	福祉部	地域包括支援課	22,000	—	22,000円 —	22,000円	—		◎												100.0%
8	市川市健康ポイントAruco	「歩く」こと、「測る」ことに健康ポイントArucoを付与することで、市民が自分の健康データを意識し、健康的な生活習慣を送ることができるよう支援するもの	企画部	健康都市推進課	4,328,000円	Aruco参加者数 5,000人	4,481,837円 4,250人	5,595,000円	Aruco参加者数 7,000人	○	◎	○											85.0%
9	部活動地域指導者協力事業	児童生徒の活動欲求に応えるため、専門的な指導力を備えた指導者を必要とする学校に対し、地域指導者の指導	学校教育部	保健体育課	1,500,000円	部活動地域指導者による部活指導 毎月4回	1,405,000 部活指導 月4回	1,500,000円	部活動地域指導者による部活指導 毎月4回	○	◎	○	○		○								100.0%
10	夢の教室関連事業	市内の全市立小・中・特別支援学校へ現役スポーツ選手をやOB、OGを派遣し、自らの体験をもとに夢の教室を開催	スポーツ部	スポーツ推進課	6,594,000円	教室の実施回数 61回	5,497,300円 61回	6,596,000円	教室の実施回数 61回	○		◎											100.0%
11	ヘルシースクール推進事業	新体力テストの総合得点によりA段階の場合は県から県運動能力証が交付され、またB段階では市より市運動能力証を交付することから、多くの子どもたちがその受証を目指し、体力向上に向けた意欲付けを行う。	学校教育部	保健体育課	—	県・市運動能力証の交付数 6,500枚	— 6,536枚	—	県・市運動能力証の交付数 6,500枚			◎											100.0%
12	スポーツ大会等派遣参加費用補助金	全国大会への出場や国際交流を目的とした大会などに派遣する費用の一部を助成することで、競技力向上及びスポーツの振興	スポーツ部	スポーツ推進課	3,150,000円	—	3.350,000円 —	3,150,000円	—				◎										100.0%
13	競技力向上推進事業	トップアスリートとのスポーツを通じた触れ合いにより、国内外で活躍するトップアスリートを育成	スポーツ部	スポーツ推進課	1,035,000円	強化競技数 2競技	未確定 2競技	952,000円	強化競技数 2競技				◎				○						100.0%
14	スポーツ協定関連事業	スポーツ振興のほか、青少年の健全育成、地域振興等を目的として連携協定等を締結し、市民がトップレベルスポーツに触れる企画を創出するだけでなく、スポーツへの興味関心の向上や、地域活性化、本市のPRと愛着の醸成につなげる。	スポーツ部	スポーツ計画課	200,000円	スポーツ観戦イベントの開催数 4回	200,000円 6回	300,000円	スポーツ観戦イベントの開催数 5回			○			◎	○				○	○		100.0%
15	公園施設維持管理事業	快適性の向上及び魅力ある公園を適切に維持管理	街づくり部	公園緑地課	1,000,000円	—	1,000,000円 —	1,000,000円	—						◎								100.0%
16	学校施設開放事業	市民のスポーツ及び文化活動の振興	学校教育部	学校地域連携推進課	2,301,000円	開放校 全55校	2,301,000円 53校	2,418,000円	開放校 全55校			○			◎								96.3%

【議案第1号】第2期 市川市スポーツ推進計画 事業計画 実施事業一覧表

【資料1】

[illegible]

【平成17年3月】塩浜まちづくり基本計画策定

- ・塩浜2丁目市有地エリアを「賑わいのエリア」と指定

【令和5年3月】第2期 市川市スポーツ推進計画策定

- ・市民アンケート等により、市民ニーズを把握

【令和5年8月】北東部スポーツタウン基本構想 見直し

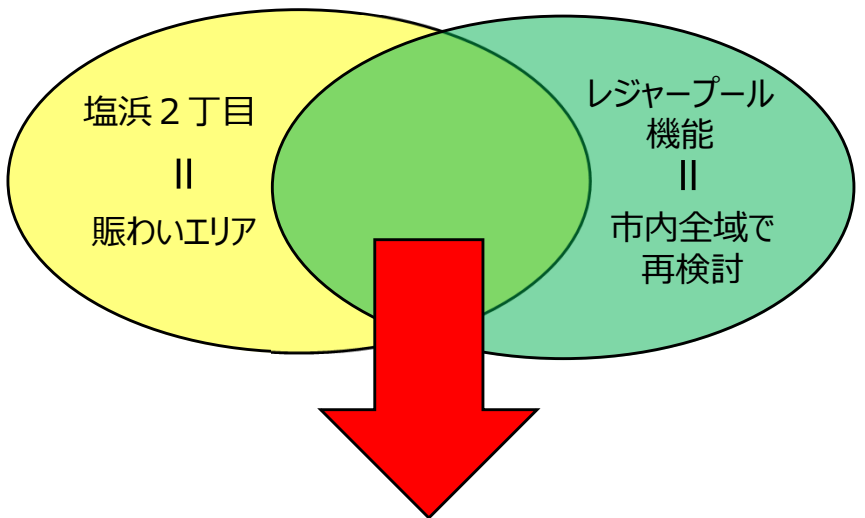
- ・既存のレジャー機能は市内全域を俯瞰した施設の適正配置を検討

【令和5年12月】サウンディング調査の実施

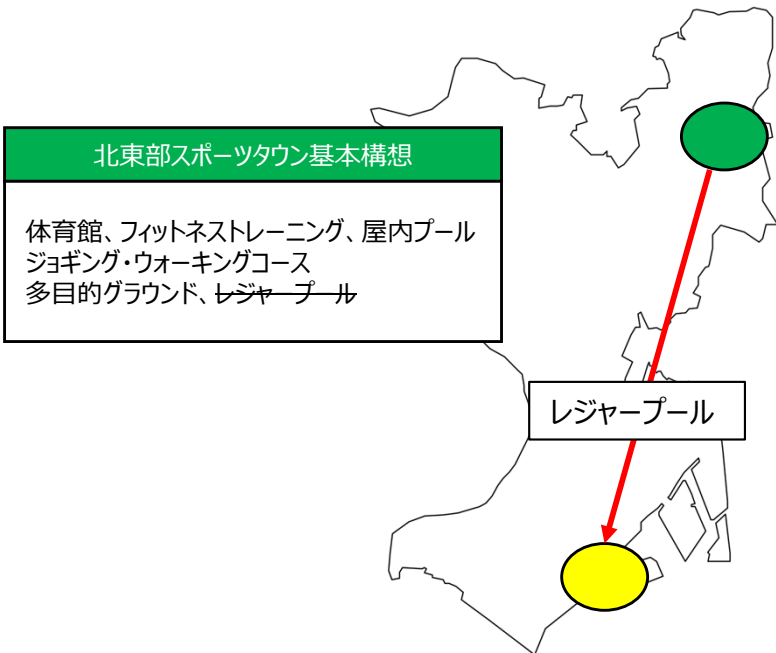
- ・レジャープールの移設と、賑わい創出の可能性を調査

【令和6年3月】整備方針（素案）策定中

塩浜地区まちづくりの基本計画 北東部スポーツタウン基本構想



塩浜2丁目市有地活用案として
レジャープールの移設検討



令和 6 年 1 月 26 日
市 川 市

塩浜 2 丁目市有地活用事業の 民間活力導入に関するマーケットサウンディング結果概要

1. マーケットサウンディング実施の経緯

本事業を行う経緯として、令和 4 年度に「第 2 期 市川市スポーツ推進計画」を策定し、今後のスポーツに関する基本目標が定まったことや、策定するうえで行った市民アンケート等から、スポーツに関する市民ニーズを把握することができたため、策定から相当年が経過している「北東部スポーツタウン基本構想」について、一部見直しを図ったところです。市民ニーズではコロナ禍を経て、健康づくりへの意識の高まりが見られたことから、北東部スポーツタウン基本構想では、「健康増進機能等をもつ多目的利用の可能な屋内プールの整備」を維持しつつ、「既存のレジャー機能」については、市内全域を俯瞰した施設の適正配置を検討することとしました。

この一部見直しを受け、塩浜 2 丁目市有地での活用の可能性を調査するに至り、マーケットサウンディング（以下：サウンディング）を実施したものです。

2. サウンディング実施の概要

令和 5 年 11 月 14 日	サウンディング実施要領等の公表
令和 5 年 11 月 27 日	現地見学会の実施 参加事業者：13 事業者
令和 5 年 12 月 1 日	質疑回答
令和 5 年 12 月 14 日	サウンディングの参加申込期限
令和 5 年 12 月 18 日～ 令和 5 年 12 月 27 日	サウンディングの実施 参加事業者：6 事業者
令和 6 年 1 月 26 日	サウンディング結果概要の公表

3. サウンディング結果概要

サウンディングを実施した結果の概要は、以下に示すとおりです。

なお、本サウンディングに参加いただいた事業者名と事業者独自の技術的ノウハウ・提案など知
的財産に関わることについては**非公表**とします。

(1) 事業手法について

事業手法	企業数
DBO 方式	2 社
PFI 方式	1 社
定期借地権方式	3 社
その他 (市の意向に沿った方式、建物賃貸借方式)	2 社

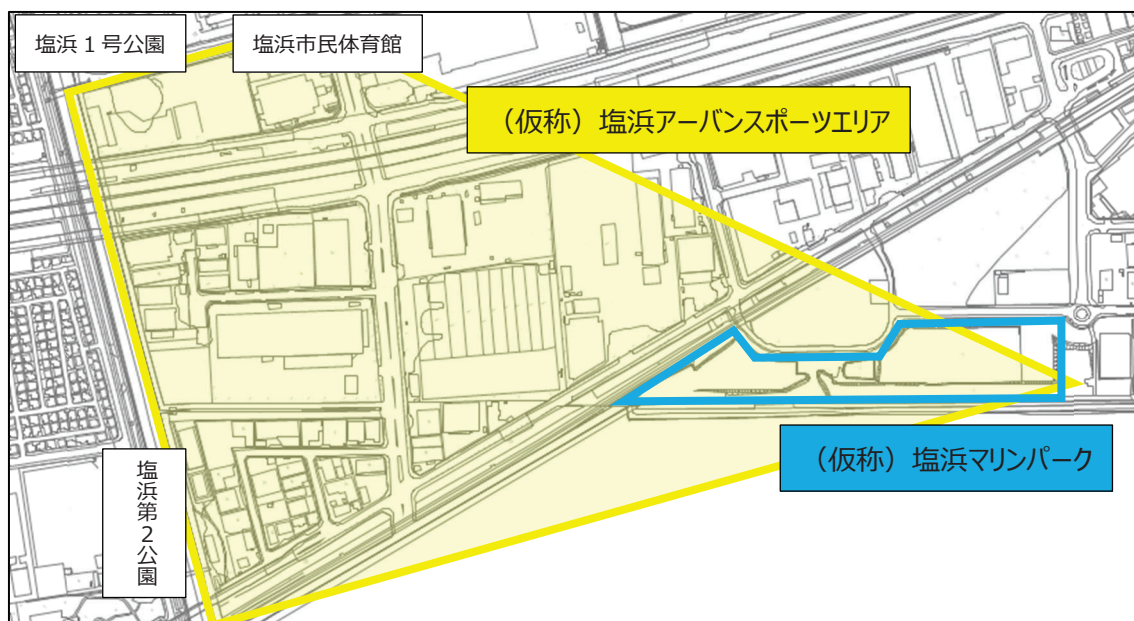
※複数回答可

(主な意見)

- 定期借地権方式で行う際は、市へ土地使用料を支払うことになるが、その際は低価格での対応を依頼したい。
- 市の意向に沿った形で対応は可能であるが、長期の運営（事業採算の面からも）希望
※約 15 年から 30 年の期間を想定

(2) 提案範囲

提案範囲	企業数
塩浜マリンパークの一部	2 社
塩浜マリンパーク全体	1 社
塩浜アーバンスポーツエリア	3 社



(3) 事業イメージ

本市の意向として以下 4 つを整備方針として挙げたうえで、整備方針を実現するための提案を受けた。

- ①海辺の立地特性を生かした土地利用
- ②年間を通して人々が集い、楽しく魅力的な賑わいのある空間を創出
- ③レジャープール等のスポーツ施設の建設
- ④公共交通の利便性を活用した整備

(主な意見)

【立地に関すること】

- 駅から徒歩 5 分の立地に施設を整備することにより、湾岸エリア全体からの集客を見込む。
- 駅から近い立地のため、来訪者には基本的に公共交通機関を利用してもらう。
- 駐車場（200～300 台程度収容）を整備し、車でも来訪可能にする。
- 塩浜マリンパークは前面が海で公共交通機関も備わっていることから、整備内容によっては多くの来場者が見込まれる

【対象者に関すること】

- スポーツに対し積極的に取り組む人（アクティブ人間）だけでなく、受動的な人（ノンアクティブ人間）へのアプローチを検討する必要がある。
- 海の見える大型の総合的スポーツ施設を導入することにより、学びの場、憩いの場等の多様な活用が想定され、多世代の利用が可能。

【施設に関すること】

- レジャープールのほか、新たな民間収益施設を組み合わせた一体の整備を希望。
- 建設費や光熱水費の高騰により、レジャープール事業は採算等を考慮すると難しい一面もある。
- 全世代が楽しめる娯楽性の高い施設群を集約させることにより、年間稼働を検討。

【ゾーニングに関すること】

- 第 1 期で塩浜マリンパーク内にスポーツ施設を新設し、第 2 期で塩浜アーバンスポーツエリアのスポーツ施設再整備を図る。
- スポーツを「する」「みる」「支える」「知る」の観点から、誰もが利用できる整備が必要。
- 塩浜アーバンスポーツエリア全体で検討する際、市有地のみならず民間事業者の土地も含めたゾーニングを希望。
- 塩浜マリンパークの一部しか活用しないため、残地については他企業と共同で事業展開をしていく。

【その他】

- 小中学生の課外活動の場として利用。
- 太陽光パネル等の導入や蓄電池の技術を利用し、再生エネルギー活用が可能。
- 廃材再利用等を導入し、SDGs 活動のアピールが可能。
- 防災機能や脱炭素社会の実現に向けた整備が必要
- 来場者が多く見込まれることにより、有事の際には避難者対応が必要となるため、整備する施設を避難場所もしくは避難所として指定する。

4. 今後の予定

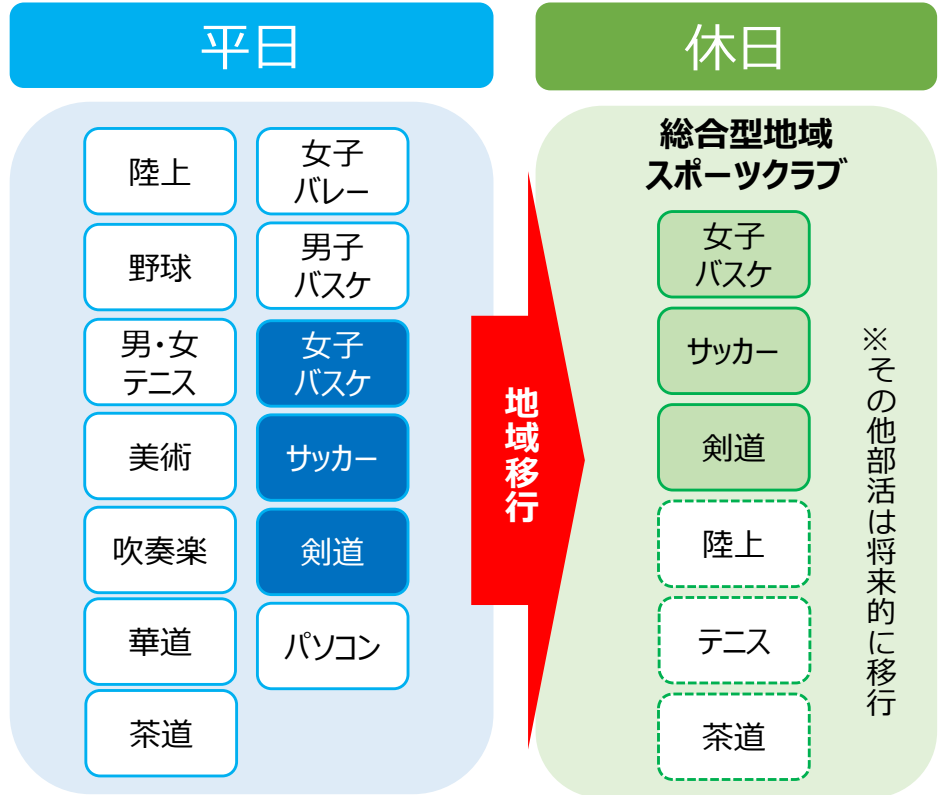
今回のサウンディングでいただいた貴重なご意見、ご提案を参考に、事業手法や具体的な整備内容等について検討し、公募資料の早期公表を目指し取り組んでまいります。

1. 課 題

長年、学校の管理下において実施してきた部活動に係る様々な問題が顕在化

- ①児童・生徒数の減少
- ②生徒・保護者の多様なニーズ
- ③教師への大きな負担

第4中学校をモデルケースとして
地域移行を検討



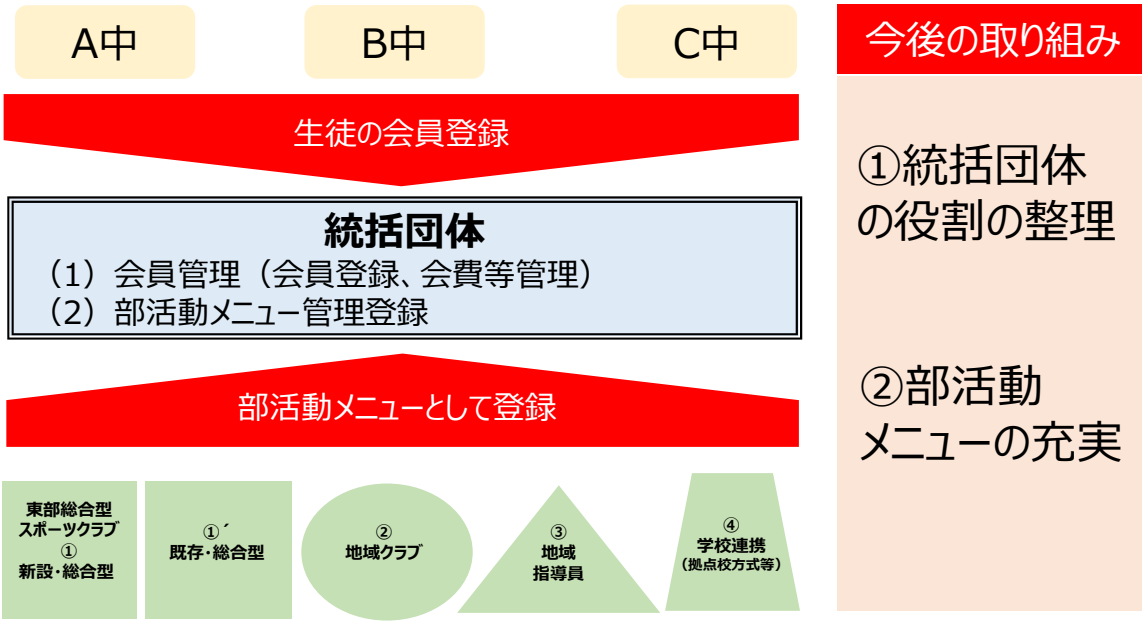
2. 本市の取り組み

名 称	市川市東部総合型地域スポーツクラブ
対象エリア	市川市立第4中学校エリア
種 目	女子バスケ部、サッカー部、剣道部
設立日	令和6年3月26日（予定）

<設立目的>

部活動の地域移行支援型の総合型スポーツクラブを目指し、スポーツに親しみ基礎を学ぶ場を提供する。

3. 本市が目指す地域移行の全体像



1 目的

施設の適正な維持管理に資するため、長期的かつ継続的に安定した財源を確保することを目的に、ネーミングライツ等の導入を検討するもの。

2 契約金額（想定）

同規模、同利用想定スタジアムの契約金額を参照しながら、年間のランニングコスト等を考慮しに算出する予定。

- ・上尾市 「UDトラックス上尾スタジアム」 300万円／年間
- ・成田市 「ナスパ・スタジアム」 200万円／年間
- ・習志野市「第一カッター球場」 150万円／年間



3 スケジュール（案）

- 6年4月 第1回選定委員会 → 基本方針の決定
- 5月～6月 募集開始（約2カ月間）
- 7月～8月 内容審査
- 9月 第2回選定委員会 → 優先交渉者選定
- 10月 契約、パートナー決定・公表、看板等設置
- 7年4月～ 歳入発生



令和5年度	令和6年度												令和7年度
～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
野球場整備工事													
工事												3.21引き渡し	準備期間 供用開始
ネーミングライツ													
基本方針等の検討	第1回選定委員会 基本方針の決定	募集	内容審査	第2回選定委員会 交渉者選定	契約、パートナー決定・公表	看板設置							歳入